

# WinSyslog インストールとライセンス登録

WinSyslog 14.x のインストールとライセンス登録について説明します。

## 1 インストーラーの入手

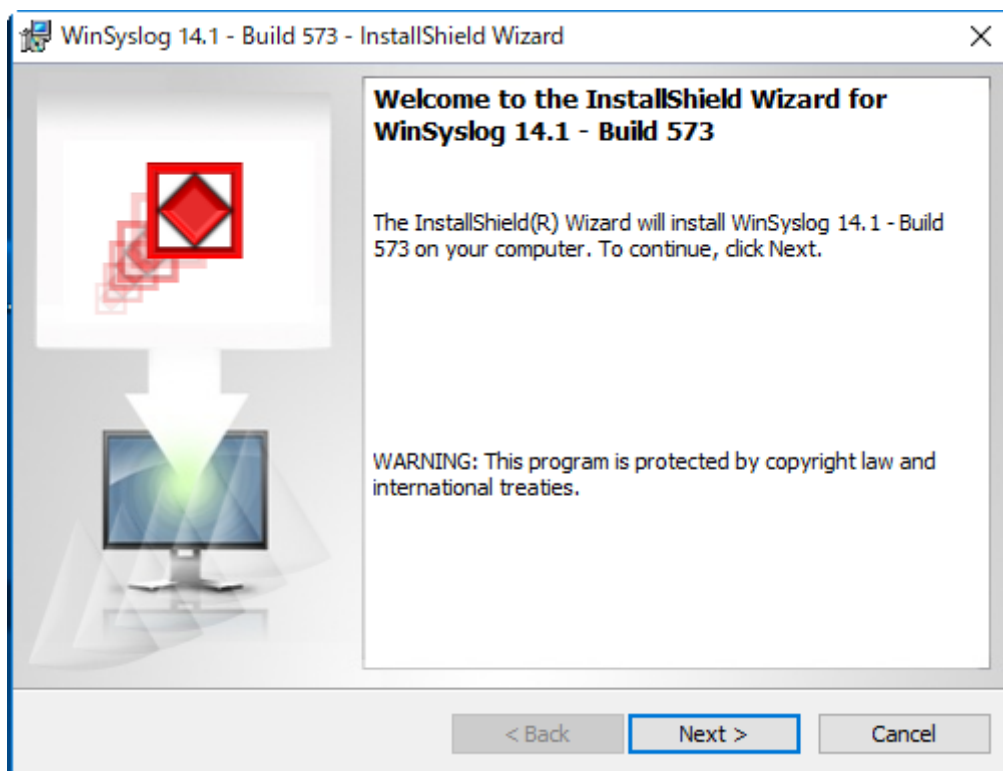
弊社のダウンロードサイト↓にアクセスします。

<https://www.jtc-i.co.jp/support/download/>

WinSyslog の必要なパッケージのインストーラーパッケージ(zip ファイル)をダウンロードします。  
(全てのパッケージには共通で、WinSyslog と Backup ツールが含まれています。)

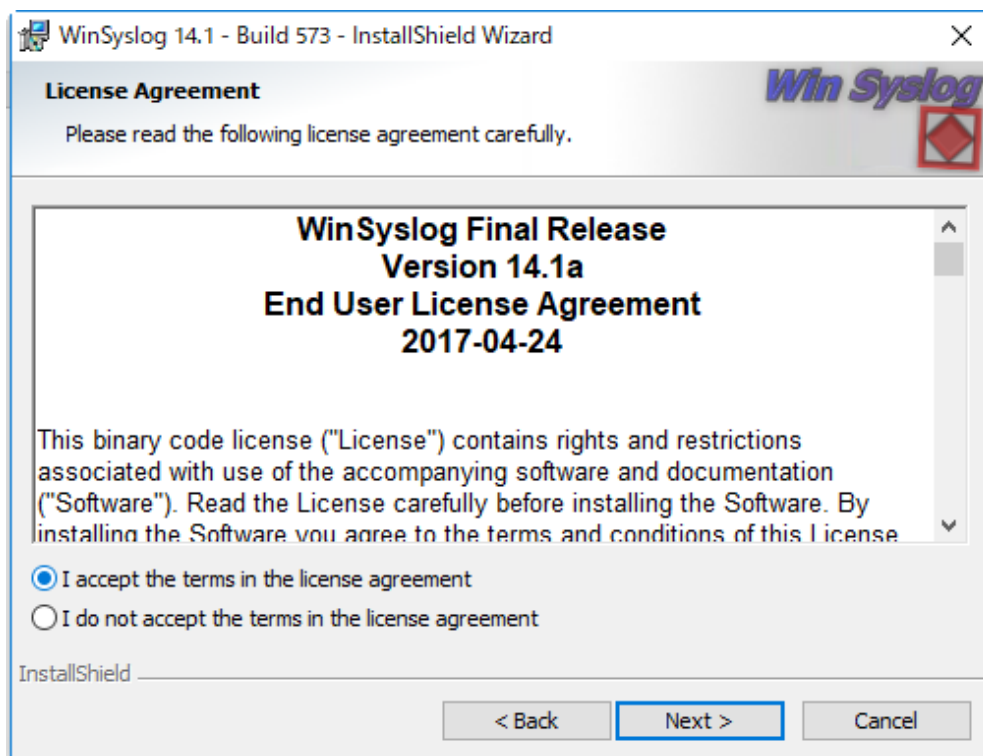
## 2 WinSyslog 14.xのインストール

1. インストールするコンピューターに管理者権限をもつアカウントでログインします。
2. インストーラーパッケージ(.zip ファイル)を展開します。
3. 展開後のフォルダ内の wnsyslog.exe をダブルクリックして実行します。  
以下の InstallShield Wizard 画面が表示されます。

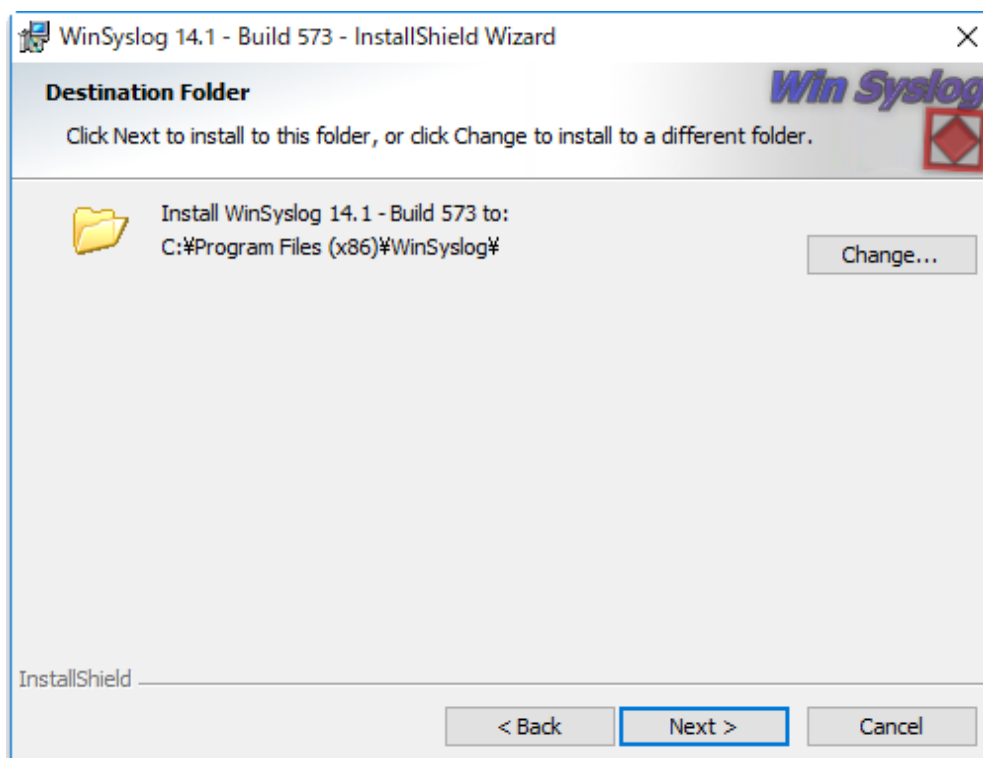


Next> をクリックします。

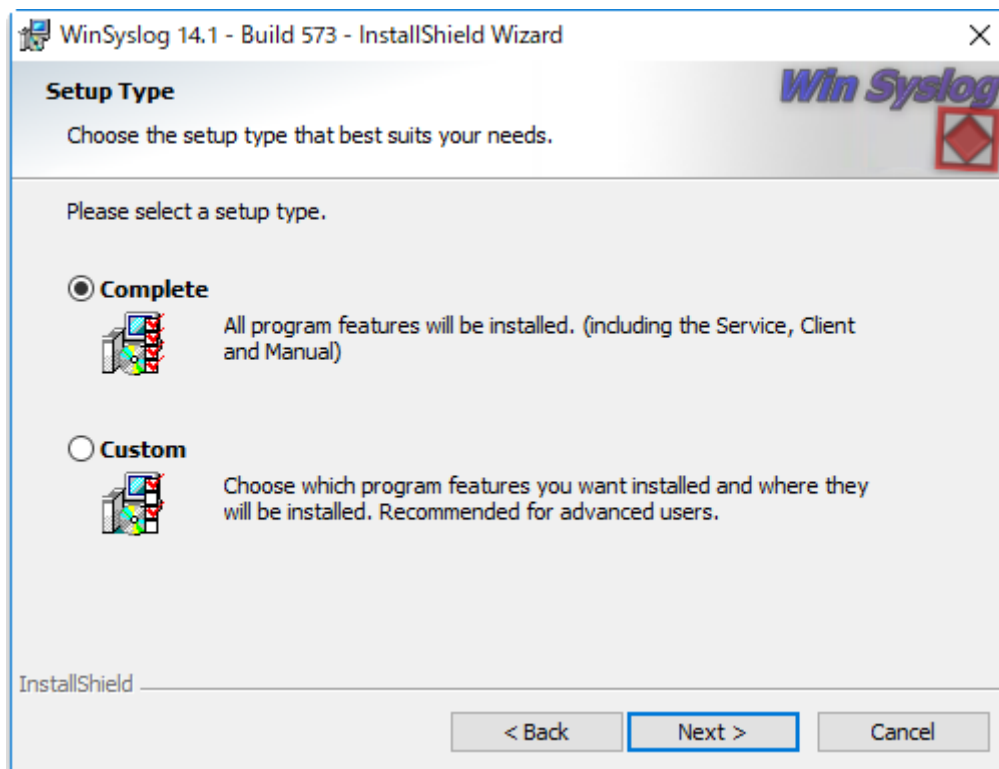
4. License Agreement(ライセンス同意)画面で、  
I accept the terms in the license agreement(ライセンス同意書の条件を承諾する)のラジオボタンを選択し、Next> をクリックします。



5. Destination Folder(インストール先のフォルダ)画面で、インストール先フォルダを変更する場合は、「Change」をクリックしてフォルダを指定します。  
デフォルトのインストールフォルダは、C:\Program Files (x86)\WinSyslog\ です。  
Next> をクリックします。



6. Setup Type(セットアップタイプ)画面で、セットアップタイプを選択します。
- Complete 全てのプログラム機能をインストール。  
(サービス、クライアント、マニュアルが含まれます)
  - Custom インストールしたいプログラム機能を選択し、インストール場所を指定します。

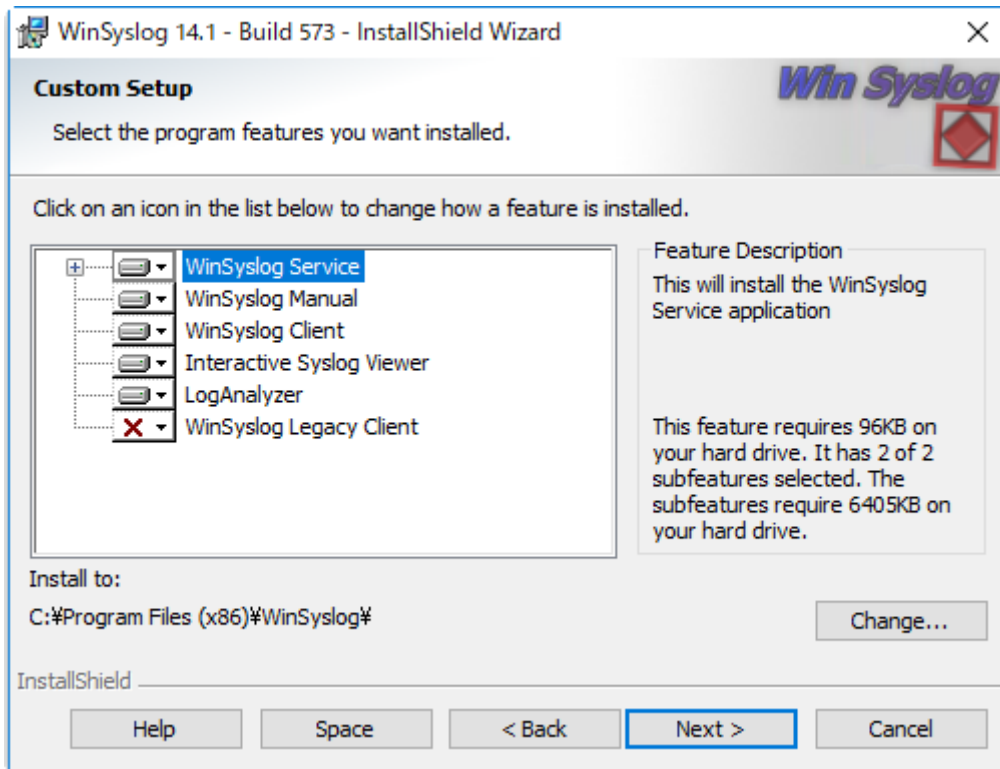


注意： Complete を選択すると、Adiscon LogAnalyzer 用フォルダもインストールされます。Adiscon LogAnalyzer は、WinSyslog で作成したデータベースを Web ブラウザ上で見ることができる、Adiscon 社製のフリーツールです。

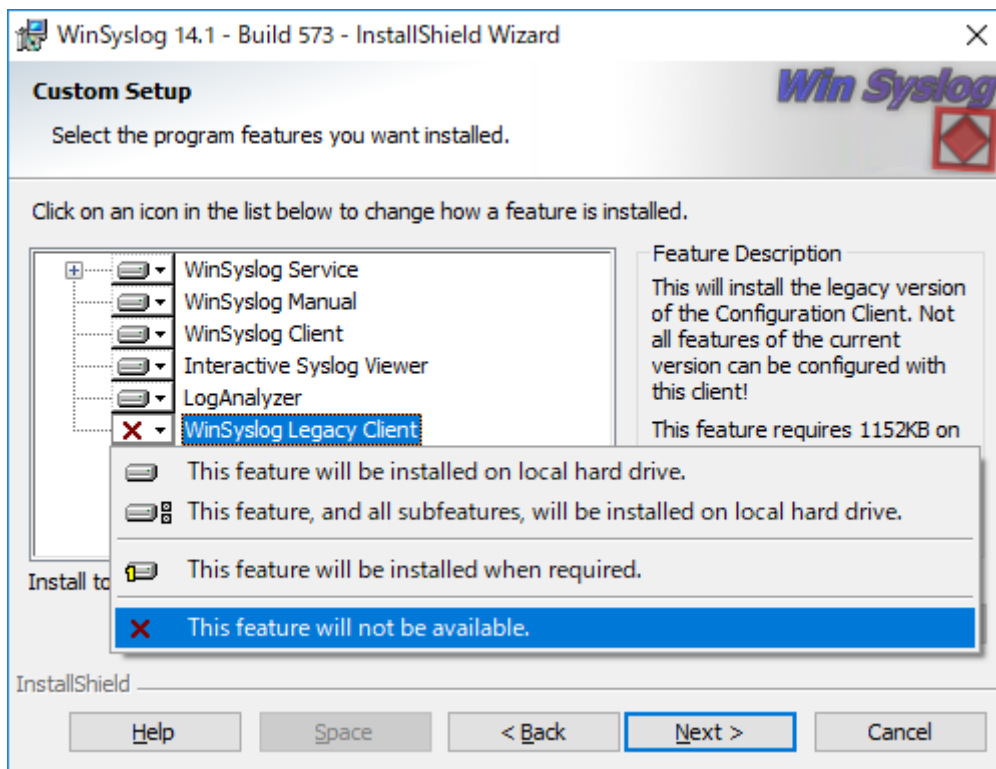
Adiscon LogAnalyzer の構築には、Web サーバー(Apache または、IIS 4 以降)、および PHP5 が必要です。また、MySQL データベース環境設定も必要となります。

※Adiscon LogAnalyzer はサポート対象外となっておりますので、ご了承ください。

注意： Custom を選択すると以下の Custom Setup(カスタムセットアップ)画面でインストールするプログラムを選択できます。

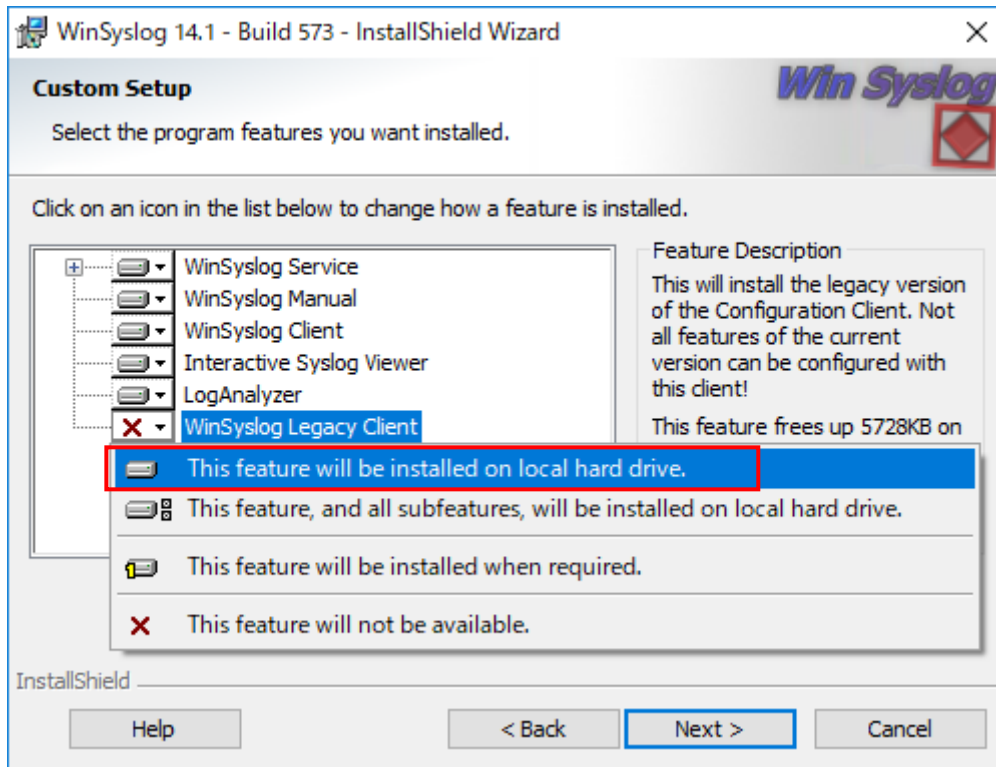


7. Adiscon LogAnalyzer が不要な場合は、左側のハードのアイコンをクリックし、“This feature will not be available” を選択します。



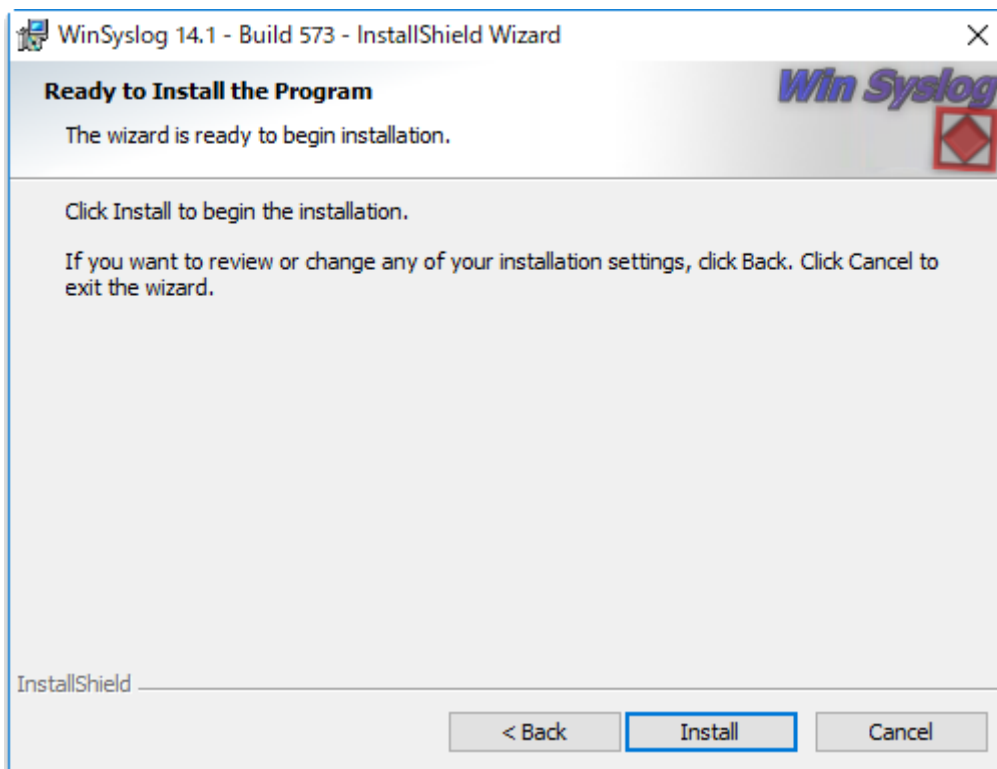
WinSyslog Legacy Client は、旧バージョンで使用されていた設定クライアントです。  
旧設定クライアント画面を使用したい場合は、“This feature will be instated on local hard drive”  
を選択します。

注記: 旧設定クライアント画面では新しく追加された機能については設定できませんので、ご注意ください。

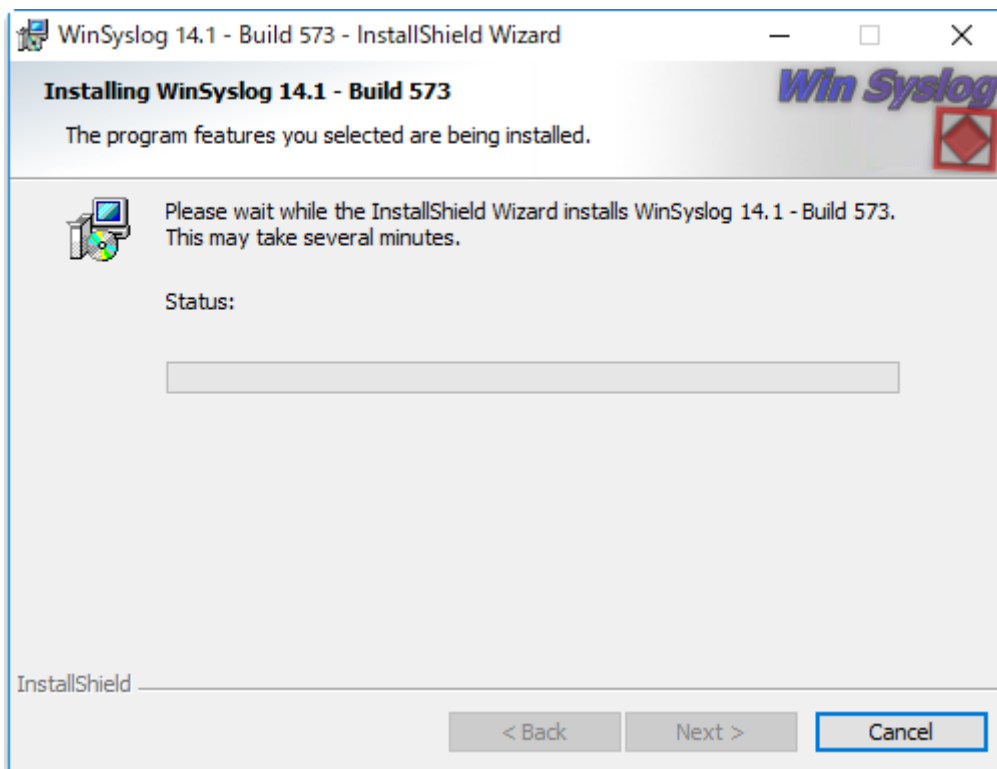


Next> をクリックします。

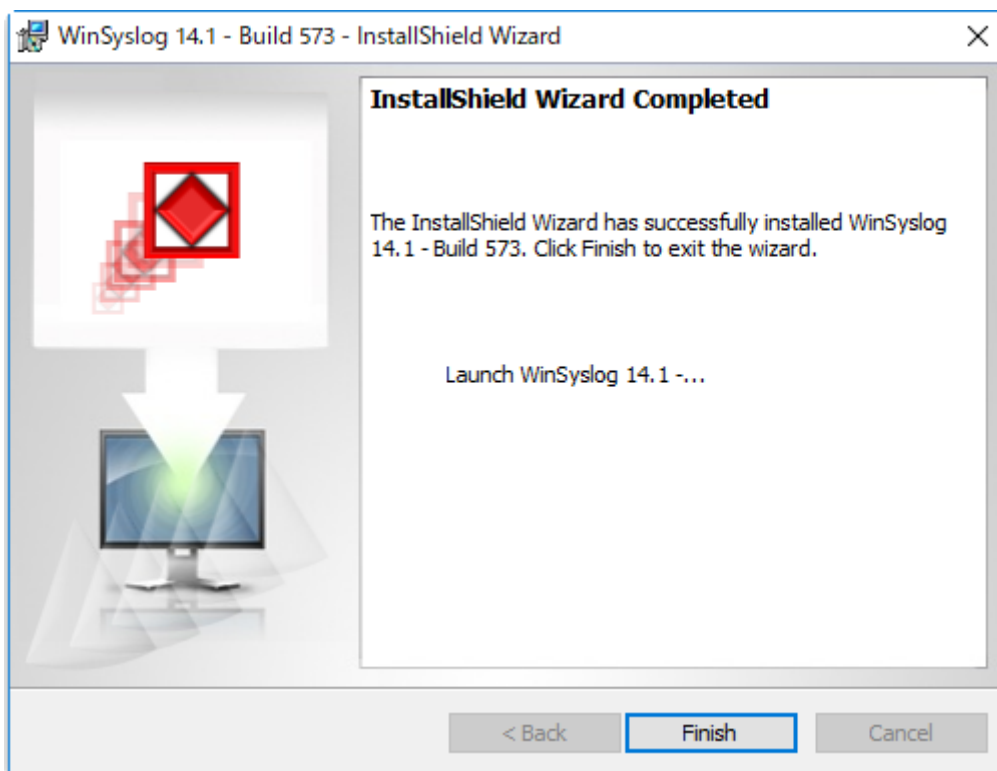
8. Ready to Install the Program(プログラムをインストール準備ができました)画面で、Install をクリックします。もし、インストールの設定の確認や変更を行う場合は、Back をクリックします。Cancel のクリックはこのウィザードの終了となります。



インストールが開始されます。



9. インストールが成功すると、以下の画面が表示されます。  
Finish をクリックして、ウィザードを終了してください。

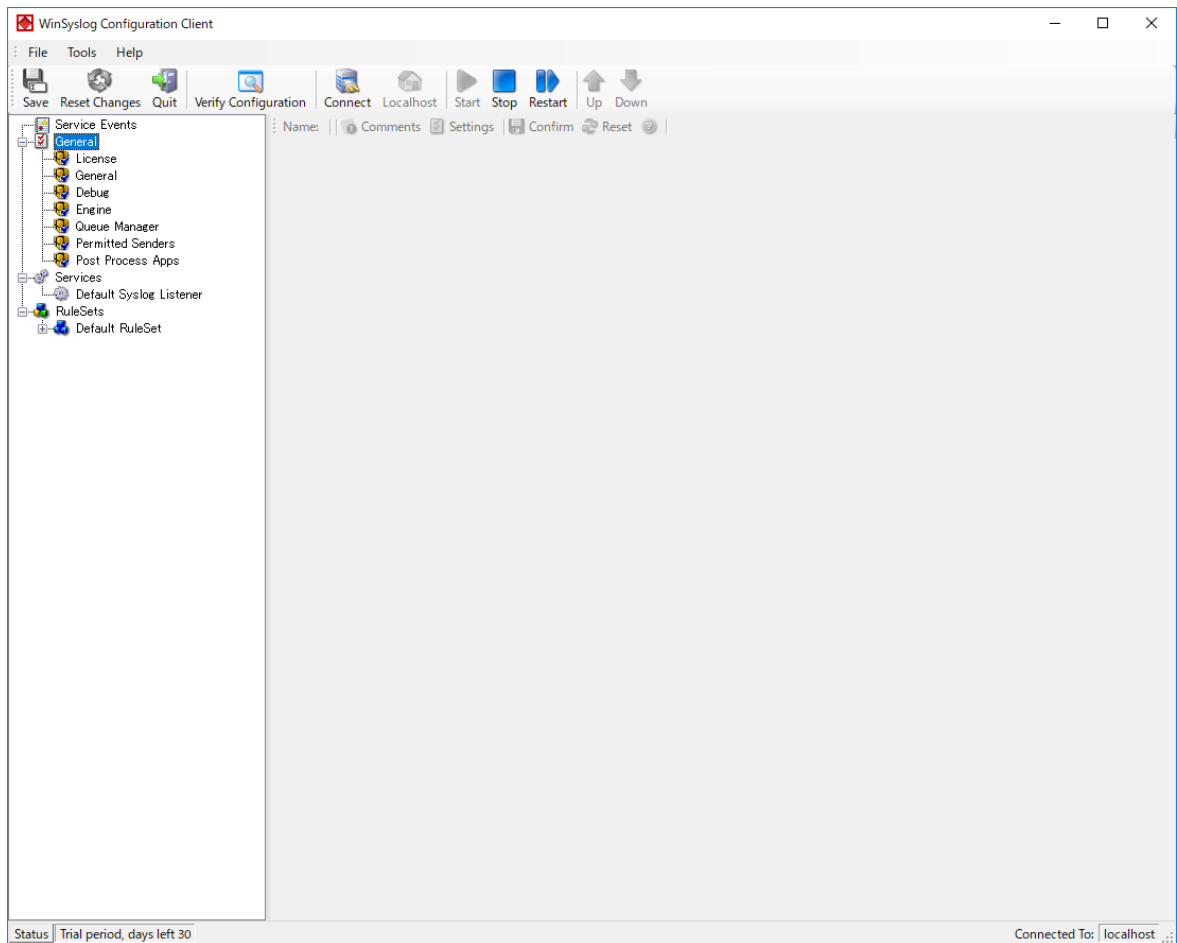


ウィザード終了後に、WinSyslog Configuration Client が起動します。

WinSyslog Configuration Client が起動しない場合は、アプリケーション一覧より WinSyslog Configuration をダブルクリックして、設定クライアント(WinSyslog Configuration Client)を起動します。(C:¥Program Files (x86)¥ WINSyslogClient.exe)

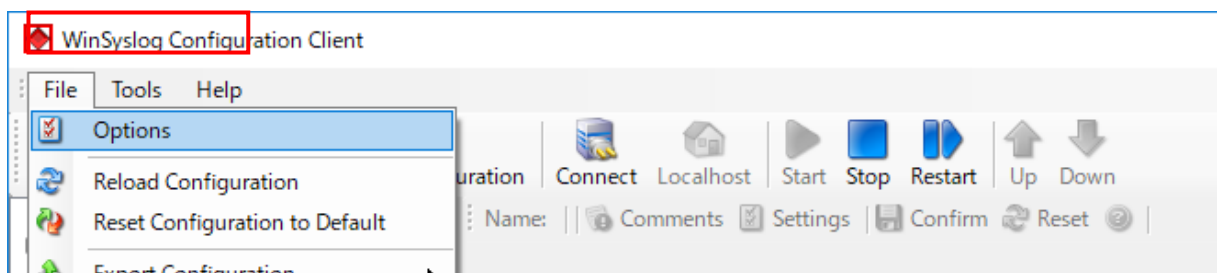


インストール直後の GUI での使用言語は、英語で起動されます。



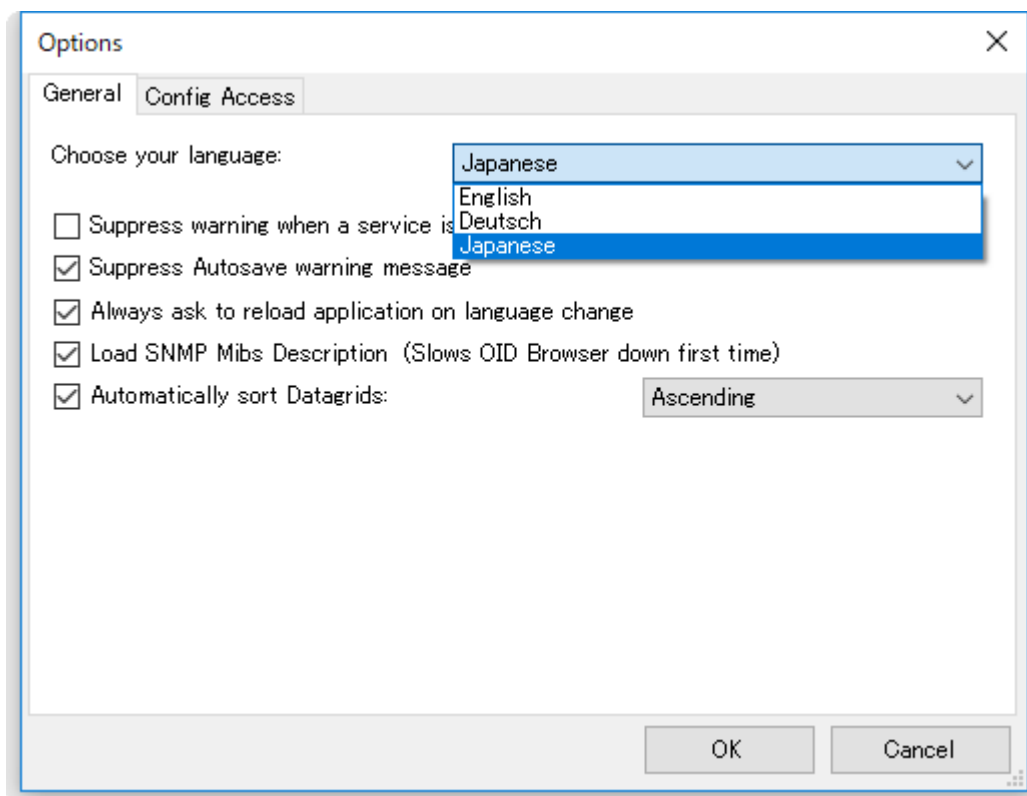
10. GUI の言語を日本語へ変更します。

File>Options を選択します。

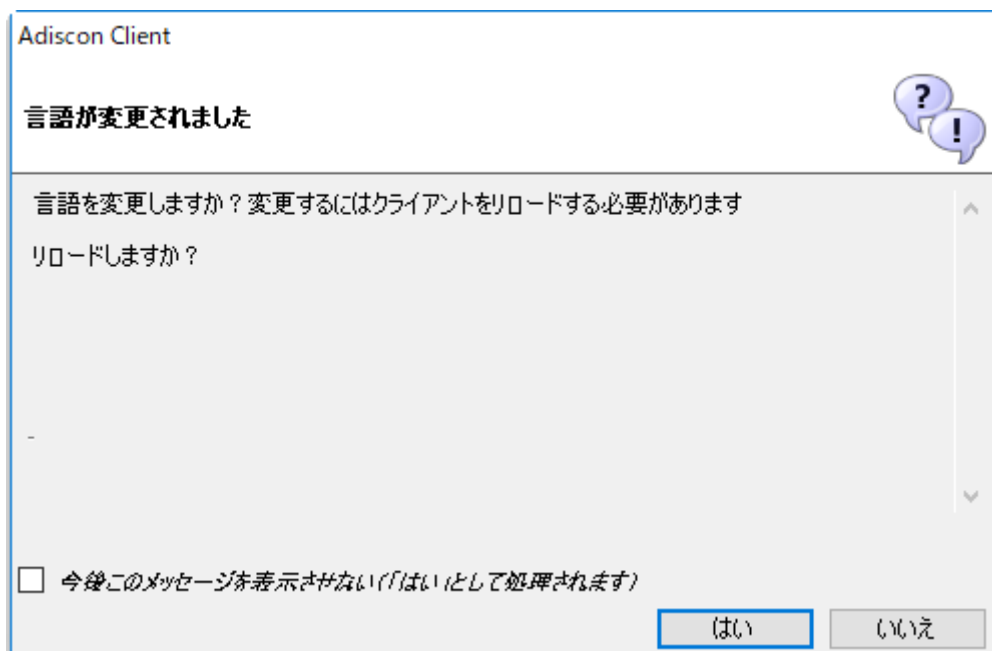




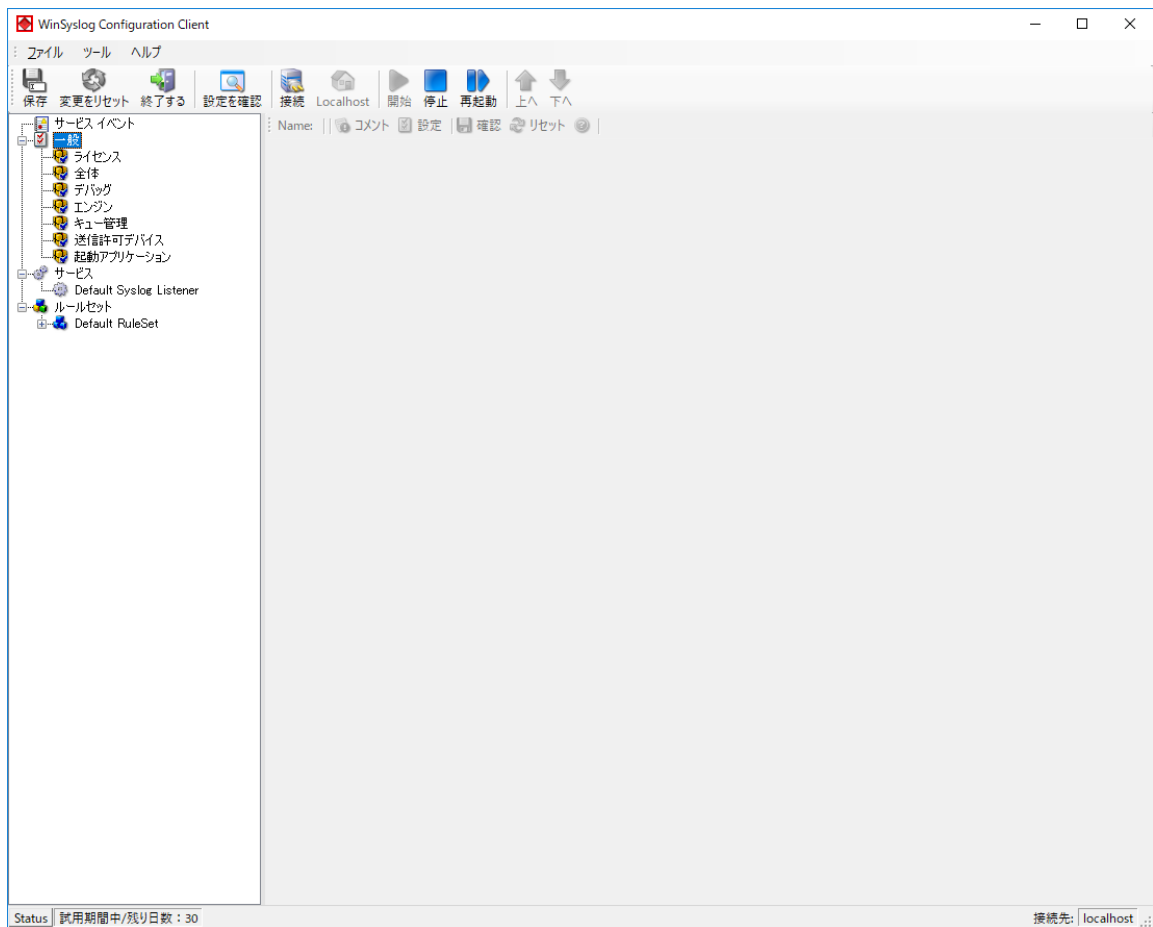
General タブの Choose your language: で Japanese を選択し、OK をクリックします。



はい をクリックすると、クライアントが再起動されます。



クライアントの GUI が日本語表示になります。



### 3 ライセンス登録

1. ライセンスは、テキストファイルで、以下のような形式で支給されます。

```
-----  
Product:      WinSyslog Professional  
Version:      14  
Licensee Name: "XXX Corp." (without the quotes)  
License Key(s): 11111-22222-333333-444444-555555  
Licensed Copies: 1  
Licensed Clients: 100  
-----
```

2. WinSyslog Configuration Client を起動し、左ペインで、一般>ライセンスをクリックします。  
右ペインが「ライセンス情報」画面になります。

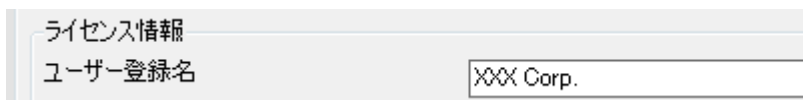


3. ユーザー登録名を入力します。支給されたライセンス情報と一致させる必要があります。

ライセンス情報の

Licensee Name: "XXX Corp." (without the quotes)

の “ ” で囲まれた文字列の部分をクリップボードへコピーし、「ユーザー登録名」欄へペーストします。



4. ユーザー登録番号を入力します。

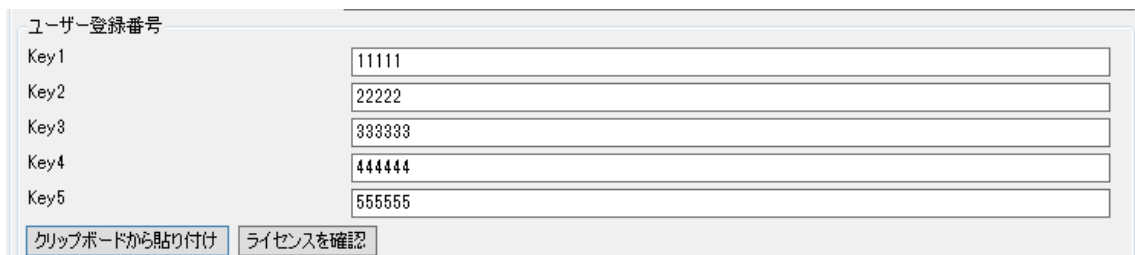
支給されたライセンス情報内の License Key で、

License Key(s): 11111-22222-333333-444444-555555

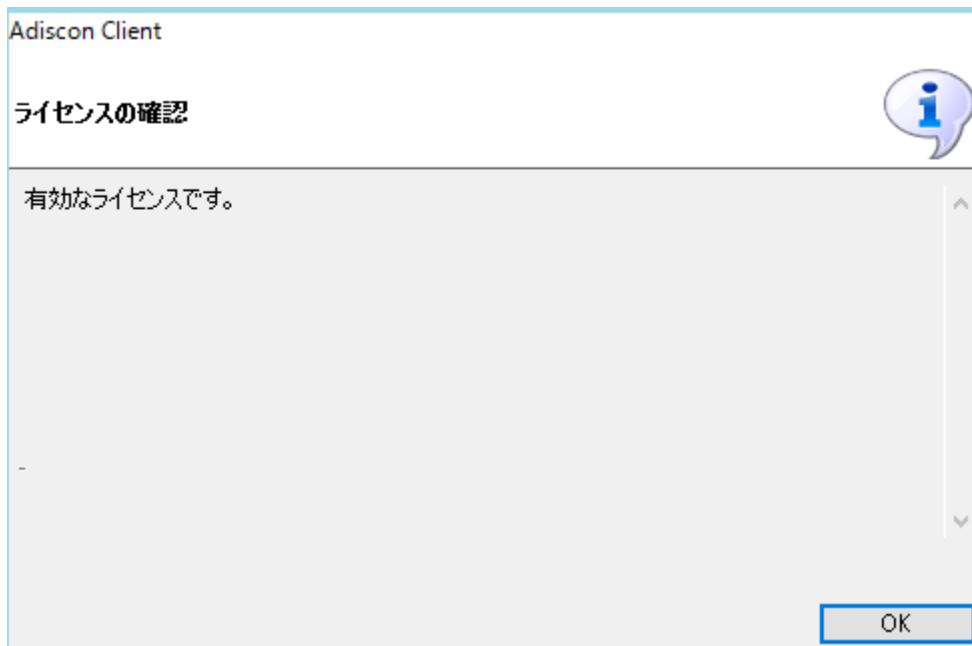
四角で囲んだ数字と - の部分をクリップボードへコピーし、

「クリップボードから貼り付け」をクリックします。

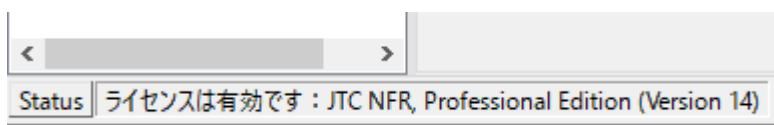
以下のように、番号がペーストされます。



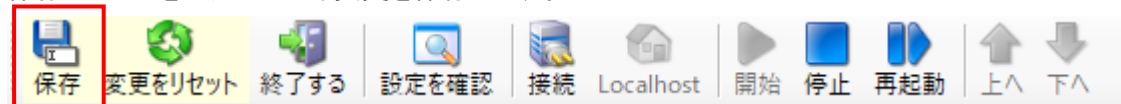
「ライセンスを確認」をクリックし、



と表示されれば、認証されました。  
画面左下の「Status」が以下のような表示になります。



保存アイコンをクリックして、変更を保存します。



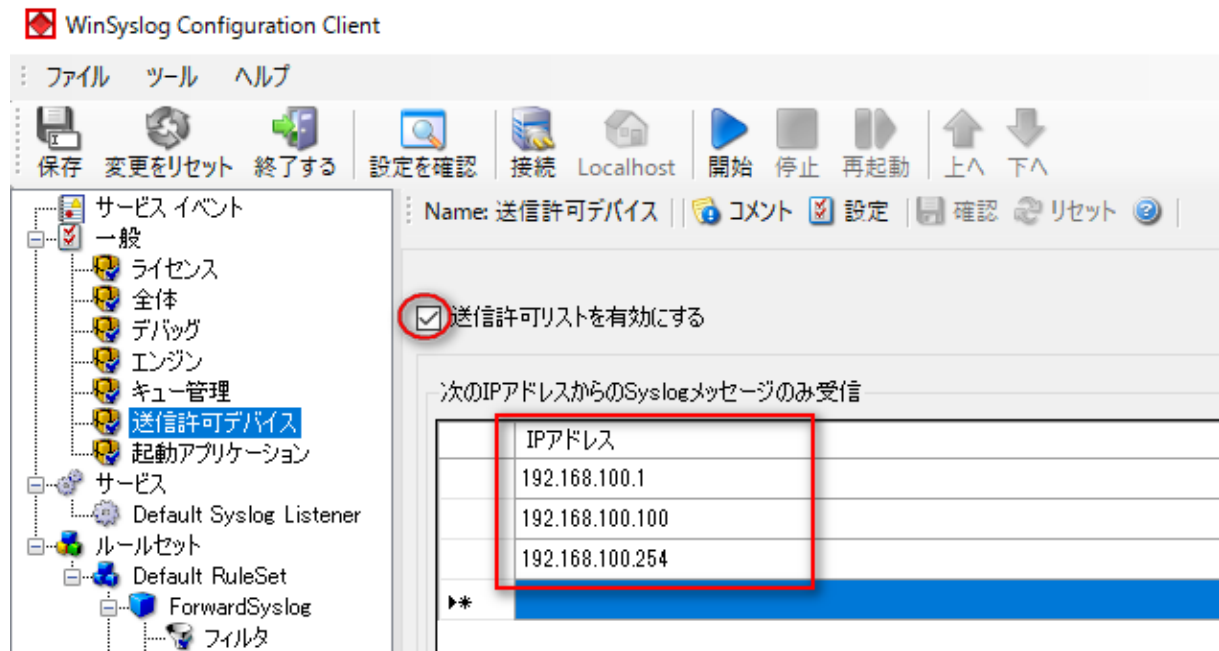
## 4 Basic フリー版について

WinSyslog はインストール後 30 日を経過すると、Basic フリー版へと自動的に移行します。  
WinSyslog Basic フリー版は、送信元アドレス 3 台の制限がありますが、無償で無期限使用可能なツールとして、日本のユーザー向けに開発されたもので、以下に記載する特徴があります。

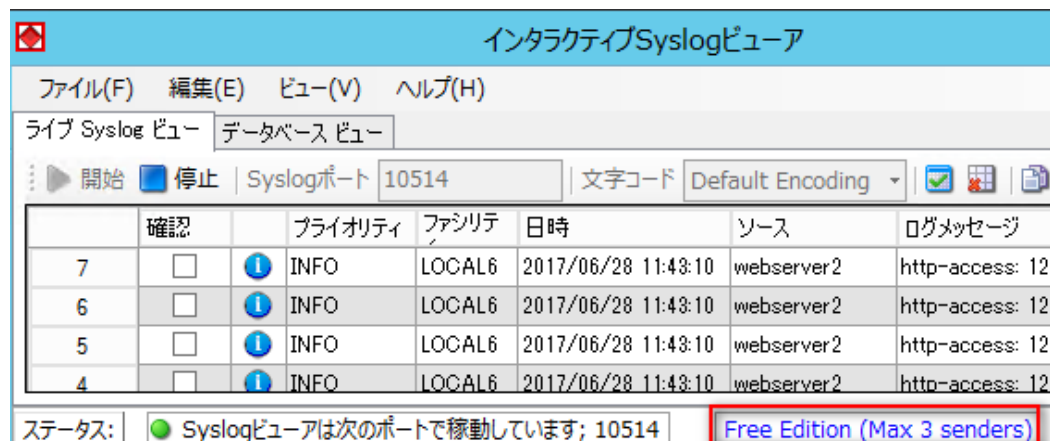
- 1) インストール後 **30 日間**は送信デバイス数**無制限**で**フル機能**がご試用いただけます。  
**※フリー版の商用利用は認められていません。個人として利用する場合を除き、正規ライセンスをご購入ください。**
- 2) 30 日を経過すると、自動的に **Basic フリー版**へと移行し、送信元 IP3 台の制限と Basic の機能制限がつきます。  
**※各エディション別比較は以下をご参照ください。(TCP 受信はできません)**

[http://www.jtc-i.co.jp/product/winsyslog/winsyslog\\_hikaku\\_pro-ent.html](http://www.jtc-i.co.jp/product/winsyslog/winsyslog_hikaku_pro-ent.html)

- 3) 30日経過後、Basicフリー版として使用を続けるためには、送信許可デバイス画面で、  
送信許可リストを有効にするにチェックを入れ、送信許可するIPアドレスを**3台**入力します。  
 4台以上入力するとエラーとなり、正しく動作しませんので、ご注意ください。  
 4台目を削除するには、その行全体を選択し、**Delete** ボタンをクリックします。



インタラクティブ Syslog ビューアの方も3デバイス制限がつき、送信元アドレスが3つまでリアルタイム閲覧可能となります。



- 4) 30日経過前、経過後いずれの場合も正規ライセンスを登録すると、ライセンスに該当するエディションの正規版として稼働します。  
 WinSyslog と付属の InterActive SyslogViewer 両方にライセンスを登録する必要があります。
- 5) フリー版の技術的なお問い合わせは、弊社カスタマーポータル**の製品・購入前お問い合わせ**からのみ承ります。  
 電話でのサポートはできませんので、ご了承ください。<https://www.jtc-i.co.jp/contact/scontact.php>